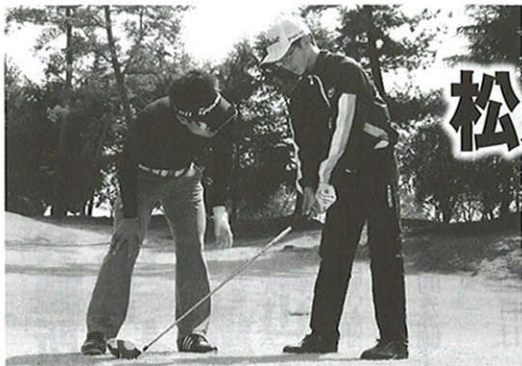


# 松永CCでチャリティーコンペ

プロ・アマ・ジュニア計84人集う



「ホースセラピーチャリティープロアマゴルフ大会」が3月28日、福山市松永町の松永カントリークラブで開かれた。障害を持つ子どもなどを対象としたホースセラピー（乗馬療法）に力を入れている乗馬クラブ「福山ホースクラブ」

（同市神辺町西中条一二七七―一）の高橋のりこ代表が設立したNPO法人「セラピー乗馬の会」（同所）を支援するチャリティーコンペで、一昨年に続き二回目。

（株）ヤノ食品（同市東深津町、矢野源太社長）や府中ロータリークラブをはじめ、備後地域を中心に六六の企業と団体、個人が協賛。大会には経営者や同市営競馬の騎手・調教師などのアマチュア五三人に加え、備後地区の小学一年―中学二年までのジュニア選手一人がエントリーした。

また、テレビ番組でも有名な上野忠美さん、中島武志さん、岡茂洋雄さんら趣旨に賛同したプロ選手二人がボラティア参加。二二組に分かれ、それぞれにプロが付いて一八ホールをダブルペリア方式でラウンドした。ジュニアやアマは、ドライバースhootのフォームやパッティングについてプロのアドバイスを受けながら和気あいあいとコースを回った。写真上。

チャリティーコンペに二人規模のプロが集うのは備後では珍しいといい、中島プロは「大したことはできないが、一緒に楽しくプレーして貢献



できれば何より」。企画段階からサポートした矢野社長は「ホースセラピーは素晴らしい活動。各所に募金箱を置くなど、活動の輪を広げていけたら」と話した。

ジュニア選手も正確なティショットを見せて大いに活躍、大会を盛り上げた。総合三位に入賞した同市伊勢丘の定藤玄輝君（中一）は「やっぱりプロはうまい。グリップを教わり、参考になった」と喜んでた。

優勝はグロス82、ネット71.2の千葉善英さん（同市新市町）。閉会式では参加者に賞品が贈られ、上野プロから高橋代表に協賛金の目録が手渡された。写真下。「前回以上に多くの支援を頂き大変うれしい。今

後も毎年3月にコンペを開くとともに、ホースセラピーを広く知ってもらえるよう力を尽くしたい」と高橋代表。協賛金は福山競馬場で開催する子ども向けホースセラピー、ジュニアゴルフ選手の育成などに充てられる。

問 セラピー乗馬の会 ☎0

84・963・5677